

六月例会御案内

〔令和五年・通算第七二二回〕

公益財団法人 協和協会

○ 御案内

六月二十一日（水）〔午後一時入館可〕午後一時半～同三時半 衆議院第一議員会館第七会議室
講 題 どうなるウクライナ戦争！

講 師 名越健郎拓殖大学特任教授（海外事情研究所、元時事通信社モスクワ支局長・外信部長）
昨年二月二十四日に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、なんとはや一カ年を経過しました。毎日のように、テレビで悲惨な戦争の実情を観るにつけ、早く終息してほしいと念じておりましたが、この戦争はいつどういう形で終わるのか？ 終息させるために世界はどういう手段方法をとればよいのか、深刻に考えております。

そこで、御講話のお願いに出たのが、名越健郎拓殖大学特任教授です。名越先生は、お父上様が昭和の時代から当団体の会員という二代目ですが、お若いころから勤務されていた「時事通信社」のモスクワ支局に勤め、そのモスクワ支局長も長年勤められ、ロシアやウクライナ方面の事情に精通しております。昨年四月の月例講話会でも御講話いただき感銘しましたが、それから一年経っておりますので、表記のようなテーマにて、御講話をお願いいたしました。

名越健郎先生は、テレビ各社報道にもよく出ておられ、それはそれで勉強になりますが、テレビではどうしても、質問に答える形になりますので、今回の月例会では、戦争が終わるにはどういう条件が必要か、世界はどういう対応をすればよいか等々、大局的・体系的視野から名越先生の御見解をうかがい、その上で、一同にて考え、意見交換もいたしたいと存じます。
奮っての御参加、お待ちしております。（清原記）

○ 出欠の返信欄は左頁をご覧ください。御出席者は、六月十六日（金）までに御投函下さい。

当日会費（昼食はなし） 会員は二千元、非会員の参加者は四千元

（公財） 協和協会 月例会 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

六月二十一日（水）の月例会に

出席 欠席（いずれかに○印を）
電話 03-3581-1192
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様の FAX
メール
当日連絡先 080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津
（メール不可・通話のみ）

▽「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会の他に、八つの部会と五〇六の委員会を設置し、これまでに百三十八本の要請書を時の政府に提出している。

第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長に塩川正十郎元財務大臣。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。現在、第六代会長代行として岸信介創立会長の御孫・岸信夫氏が就任している。国会議員中は外務副大臣等々を経て、菅義偉内閣に続いて岸田文雄内閣にて防衛大臣を二年勤められた。大臣就任中は、決まりにより、会長の職務は、清原淳平執行理事に委任されていた。令夫人によると、いま体調回復に務めているので、会合に参加は出来ない。引き続き清原執行理事にお任せし、体調回復に一層努力されている、とのこと。

▽事務局電話（03）3581・1192 代表理事兼執行理事・清原淳平、総務 重田、高津